

会議録

第一回「べつぷろ子ども市議会」

12/25/2003





別府市議会議員

清成 宣明

子ども市議会を終えて

初めての試みである第1回「べっぷ子ども市議会」が様々な成果を残し無事終了し、安堵いたしております。

子供たちの一般質問を聴き、社会を確かな目で見つめている実感を得ると同時に、これから別府市を背負って立つ子供たちが本当に大勢育っていることに改めて感動いたしました。

子供たちが素朴に感じている疑問は、「まちづくり」の原点そのものであり、我々市議会も改めて初心に帰る機会を得たと考えます。

近い将来この子供たちが主役になる時代がやってきます。今回の子ども市議会を通じて、別府という社会を見、それが子供たちの心の中で「ふるさと」を愛する気持ちを育んでくれることを確信いたしております。

今回の第1回子ども市議会をここまで立派に運営することにご尽力くださいました、先生方、PTAの皆様方、市子連の皆様方に対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。

子供たちは別府市の未来を担う宝です。この宝は家庭、学校、地域社会が大きな力で守り育てていくものと考えています。この子ども市議会がその一助になることができたなら幸いと存じます。



別府市長

浜田 博

未来に輝く星たちに出会って

小学校による第1回「べっぷ子ども市議会」は未来に明るい希望の光を放つとともに、大きな成果をおさめることができました。ご尽力いただきました先生方、保護者の方々、そして関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

私たち大人が驚き、感動したことは、「防災と環境」、「福祉と教育」、「行政や観光のあり方」などに集中した一般質問での純粋で、解決に立ち向かう真剣な姿勢です。

また、提言では「足湯の整備」をはじめ、どのようなまちづくりを進めるべきかを、はっきりとしたイメージで唱えていただきました。

そして何と言っても、「あいさつのできる…」、「みんなから愛される…」、「みんなで力をあわせて…」の三つの誓いからなる「未来に輝くべっぷっ子」子ども宣言には、私たち大人が「たくさんの元気と勇気」をいただきました。

子どもたちが成人する8年後が、本当に「元気なべっぷ」であるために、今の私たちが何をすべきであるのかを、痛感いたしました。

未来に輝く32人の星たち、本当にありがとう。

議長席



佐脇 開議長 (南立石小6年)



岡田真希穂副議長 (春木川小6年)

一般質問



三城準太議員 (野口小6年)



松本裕介議員 (北小6年)



川野真央議員 (南立石小6年)



秋吉拓郎議員 (西小6年)



新久保友美議員 (境川小6年)



光吉彩花議員 (石垣小6年)



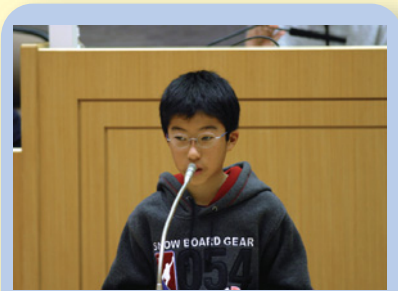
秋吉諒二議員 (南小5年)



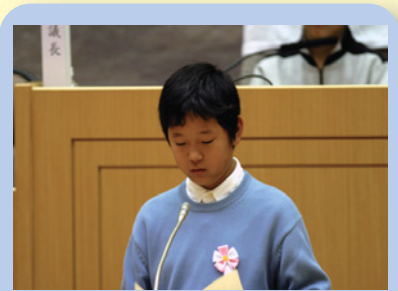
渡邊麗奈議員 (鶴見小6年)



岩屋大志郎議員 (青山小6年)



甲斐圭太郎議員（上人小6年）



山崎大貴議員（緑丘小6年）



神崎祥平議員（朝日小6年）



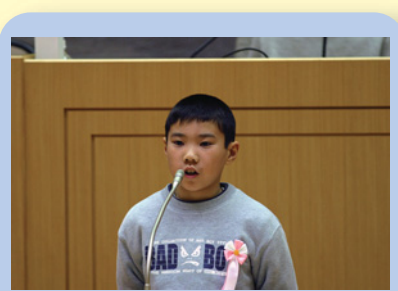
相原雅士議員（東山小6年）



吉野内裕議員（大平山小6年）

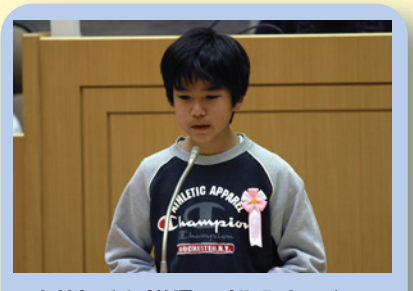


永井利英議員（春木川小6年）



山田悠貴議員（亀川小6年）

提 言



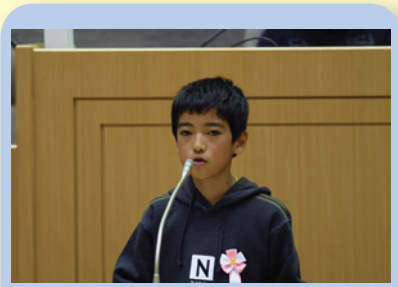
川端秀和議員（朝日小6年）



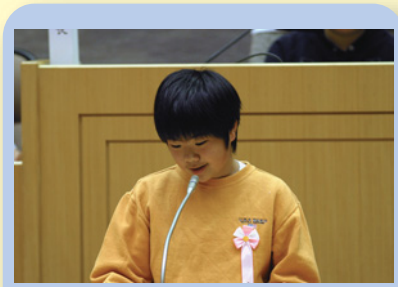
宍部美希議員（北小6年）



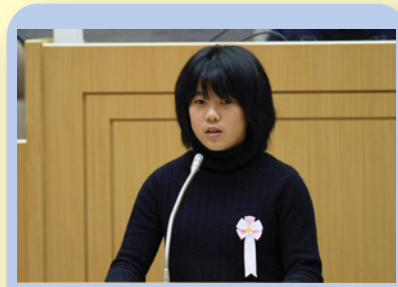
大野智央議員（東山小5年）



佐古友也議員（南小5年）



野間口友紀子議員（亀川小6年）



板倉夕夏議員（西小6年）



麻生晃世議員（緑丘小6年）



大久保宙議員（石垣小6年）



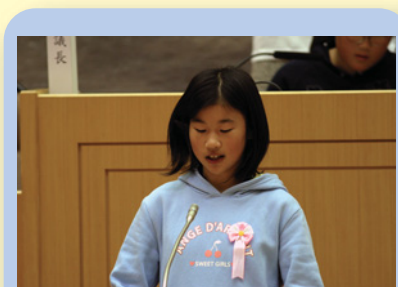
塩崎真琴議員（野口小6年）



小西珠美議員（青山小6年）



藤井 礼議員（上人小6年）



利光彩菜議員（大平山小6年）

子ども宣言と謝辞



池尻 玲議員（鶴見小6年）



藤原恵里議員（境川小6年）

第1回「べっぷ子ども市議会」会議録 目次

・ 会期日程表	1
・ 上程議案議決一覧表	1
・ 一般質問表	1
・ 提言者一覧表	3
第1号（12月25日・金曜日）	
・ 出席議員	5
・ 欠席議員	6
・ 説明のための出席者	6
・ その他出席者	6
・ 議会事務局出席者	7
・ 議事日程表（第1号）	7
・ 本日の会議に付した事件	7
（開 会）	9
・ 議席の指定	9
・ 会議録署名議員の指名	11
・ 一般質問	11
質問者・三 城 準 太 議員	11
答弁者・高 橋 徹 生活環境部長	12
答弁者・浜 田 博 市長	12
質問者・松 本 裕 介 議員	13
答弁者・岡 部 光 瑞 福祉保健部長	14
答弁者・浜 田 博 市長	14
質問者・川 野 真 央 議員	15
答弁者・浜 田 博 市長	16

質問者・秋吉拓郎議員	16
答弁者・浜田博市長	17
質問者・新久保友美議員	17
答弁者・亀岡丈人建設部長	18
答弁者・浜田博市長	18
質問者・光吉彩花議員	19
答弁者・浜田博市長	20
質問者・秋吉諒二議員	20
答弁者・亀岡丈人建設部長	21
答弁者・浜田博市長	21
質問者・渡邊麗奈議員	22
答弁者・友永哲男企画財政部長	23
答弁者・浜田博市長	24
質問者・岩屋大志郎議員	25
答弁者・山田俊秀教育長	26
答弁者・浜田博市長	27
質問者・甲斐圭太郎議員	28
答弁者・浜田博市長	28
質問者・山崎大貴議員	29
答弁者・浜田博市長	30

質問者・神崎祥平議員	3 1
答弁者・浜田博市長	3 2
質問者・相原雅士議員	3 3
答弁者・浜田博市長	3 3
質問者・吉野内裕議員	3 4
答弁者・亀岡丈人建設部長	3 4
答弁者・浜田博市長	3 5
質問者・永井利英議員	3 6
答弁者・岡部光瑞福祉保健部長	3 6
答弁者・浜田博市長	3 7
質問者・山田悠貴議員	3 7
答弁者・東昇司観光経済部長	3 8
答弁者・浜田博市長	3 9
(休憩・再開)	4 0
・提言の発表	4 0
川端秀和議員	4 1
安部美希議員	4 1
大野智央議員	4 1
佐古友也議員	4 2
野間口友紀子議員	4 2
板倉夕夏議員	4 3
麻生晃世議員	4 4
大久保宙議員	4 4
塩崎真琴議員	4 5

	小 西 珠 美 議員	4 5
	藤 井 礼 議員	4 6
	利 光 彩 菜 議員	4 7
・ 議員提出議案第 1 号子ども宣言について、上程		4 7
・ 提案理由説明	池 尻 玲 議員	4 7
・ 表 決		4 8
・ 閉 会		4 8

[閉 会 式] 目 次

・ 閉会式次第		4 9
・ 開 会		5 1
・ 市議会議長あいさつ	清 成 宣 明 市議会議長	5 1
・ 市長あいさつ	浜 田 博 市長	5 3
・ 記念品の贈呈	山 田 俊 秀 教育長	5 4
・ 子ども議員代表者謝辞	藤 原 恵 里 議員	5 4
・ 閉 会		5 5

第 1 回「べっぷ子ども市議会」会議録

○会 期 平成15年12月25日(1日間)

○会期日程表

平成15年12月25日(木)本会議 議席の指定、会議録署名議員の指名、会期の決定、一般質問、提言、議員提出議案第1号 子ども宣言について

○上程議案議決一覧表

議員提出議案第1号 子ども宣言について 平成15年12月25日 原案可決

○一般質問表

質 問 項 目	質 問 議 員
鶴見岳が噴火したらどうなるか、またその対策について	1 番議員・野口小学校 三 城 準 太
別府のバリアフリーは、どのくらい進んでいるのか	5 番議員・北小学校 松 本 裕 介
南立石公園トイレの案内板設置や、改修・増設等を考えているか。ゴミ箱の設置についてはどうか	3 1 番議員・南立石小学校 川 野 真 央
学校に、車いすの人のことを考えた身障者用トイレの設置について	1 0 番議員・西小学校 秋 吉 拓 郎

<p>境川を始めとする市内各河川をきれいにするための水質浄化について</p>	<p>3 番議員・境川小学校 新久保 友 美</p>
<p>学校の運動場を広くして欲しい</p>	<p>2 2 番議員・石垣小学校 光 吉 彩 花</p>
<p>市民や観光客の食べ歩きやゴミのポイ捨てをやめさせる方法はないか</p>	<p>7 番議員・南小学校 秋 吉 諒 二</p>
<p>市役所は、どんな課があってどんな仕事をしているのか</p>	<p>1 4 番議員・鶴見小学校 渡 邊 麗 奈</p>
<p>別府アリーナに世界レベルのスポーツチームを招く計画について</p>	<p>1 1 番議員・青山小学校 岩 屋 大志郎</p>
<p>別府市の地獄や温泉のすばらしさを、全国にどのように広めているのか</p>	<p>1 7 番議員・上人小学校 甲 斐 圭太郎</p>
<p>ドリームバルを続けて欲しい。このような、観光客にたくさん来てもらうための取り組みは、どんなことを考えているのか</p>	<p>2 6 番議員・緑丘小学校 山 崎 大 貴</p>
<p>別府市が開いている外国語や外国のことを教えてくれる教室について</p>	<p>1 9 番議員・朝日小学校 神 崎 祥 平</p>
<p>自然環境を生かした観光について</p>	<p>2 9 番議員・東山小学校 相 原 雅 士</p>

通学路を安全に通れるように（側溝のふた・道路の改善等）	28番議員・大平山小学校 吉野内 裕
体の不自由な人やお年寄りに優しいまちづくりについて	24番議員・春木川小学校 永井利英
観光客減少に対する対策はどうなっているのか。又、温泉の利用者数はどうなっているのか	15番議員・亀川小学校 山田悠貴

○提言者一覧表

提 言 内 容	提 言 議 員
車イスの子どもにエレベーターを設置して欲しい	20番議員・朝日小学校 川端秀和
トキ八横の使われていない温泉等を足湯等に転用してはどうか	6番議員・北小学校 安部美希
未来の別府市について（自然との共生）	30番議員・東山小学校 大野智央
別府湾（海）や朝見川（川）にゴミを捨てないでほしい	8番議員・南小学校 佐古友也
亀川の町は、体の不自由な人も多い。このような人に優しいまちづくりを、進めて欲しい	16番議員・亀川小学校 野間口友紀子

<p>市内のいろいろな場所に、足湯を作り、お客さんに楽しんでもらいたい。また、チンチン電車を復活して、観光の目玉にして欲しい</p>	<p>9 番議員・西小学校 板 倉 夕 夏</p>
<p>夜明るい、安全なまちづくりを目指して、街灯を増やして欲しい。又、側溝のふたの整備もお願いしたい</p>	<p>2 5 番議員・緑丘小学校 麻 生 晃 世</p>
<p>学校の施設に不十分を感じるものがある。(トイレの数・場所等)充実したものにして欲しい</p>	<p>2 1 番議員・石垣小学校 大久保 宙</p>
<p>自然災害(鶴見岳の噴火等)に備えて、別府市の安全体制と各家庭への避難体制を万全に備えてほしい</p>	<p>2 番議員・野口小学校 塩 崎 真 琴</p>
<p>より使いやすく、魅力ある別府公園にするために</p>	<p>1 2 番議員・青山小学校 小 西 珠 美</p>
<p>上人ヶ浜をきれいにするには</p>	<p>1 8 番議員・上人小学校 藤 井 礼</p>
<p>観光客がたくさん来たくなるようなまちづくりをして欲しい</p>	<p>2 7 番議員・大平山小学校 利 光 彩 菜</p>

第1回「べっぷ子ども市議会」会議録(第1号)

平成15年12月25日

出席議員(32名)

1番	野口小学校6年	三城準太君
2番	野口小学校6年	塩崎真琴さん
3番	境川小学校6年	新久保友美さん
4番	境川小学校6年	藤原恵里さん
5番	北小学校6年	松本裕介君
6番	北小学校6年	安部美希さん
7番	南小学校5年	秋吉諒二君
8番	南小学校5年	佐古友也君
9番	西小学校6年	板倉夕夏さん
10番	西小学校6年	秋吉拓郎君
11番	青山小学校6年	岩屋大志郎君
12番	青山小学校6年	小西珠美さん
13番	鶴見小学校6年	池尻玲君
14番	鶴見小学校6年	渡邊麗奈さん
15番	亀川小学校6年	山田悠貴君
16番	亀川小学校6年	野間口友紀子さん
17番	上人小学校6年	甲斐圭太郎君
18番	上人小学校6年	藤井礼さん
19番	朝日小学校6年	神崎祥平君
20番	朝日小学校6年	川端秀和君
21番	石垣小学校6年	大久保宙君
22番	石垣小学校6年	光吉彩花さん
23番	春木川小学校6年	岡田真希穂さん
24番	春木川小学校6年	永井利英君

25番	緑丘小学校6年	麻生晃世さん
26番	緑丘小学校6年	山崎大貴君
27番	大平山小学校6年	利光彩菜さん
28番	大平山小学校6年	吉野内裕君
29番	東山小学校6年	相原雅士君
30番	東山小学校5年	大野智央君
31番	南立石小学校6年	川野真央さん
32番	南立石小学校6年	佐脇開君

欠席議員（なし）

説明のための出席者

市長	浜田博君	助役	大塚利男君
収入役	池部光君	教育長	山田俊秀君
水道局長	宮崎眞行君	監査委員	渡部喜代美君
総務部長	須田一弘君	企画財政部長	友永哲男君
市長公室長	亀山勇君	観光経済部長	東昇司君
建設部長	亀岡丈人君	生活環境部長	高橋徹君
福祉保健部長	岡部光瑞君	消防長	吉本皓行君
財政課長	徳部正憲君	学校教育課長	利光弘文君
生涯学習課参事	佐藤泰朗君		

その他出席者

別府市議会議長	清成宣明君
別府市議会副議長	野口哲男君
別府市議会子ども会を支える議員連盟会長	首藤正君
別府市議会子ども会を支える議員連盟副会長	永井正君

別府市子ども会育成会
連 合 会 会 長 平 松 徹 夫 君

別府市PTA連合会副会長 村 田 広 子 さん

議会事務局出席者

局 長	林 慎 一	参 事	加 藤 陽 三
次長兼議事係長	藤 内 宣 幸	次長兼調査係長	飯 田 ひとみ
主 幹	是 永 敏 明	主 査	濱 崎 憲 幸
主 査	柏 木 正 義	主 任	村 上 正 人
主 事	遠 藤 緑		

議事日程表（第1号）

平成15年12月25日（木曜日）午前9時開議

- 第1 議席の指定
- 第2 会議録署名議員の指名
- 第3 会期の決定
- 第4 一般質問
- 第5 提 言
- 第6 議員提出議案第1号 子ども宣言について

本日の会議に付した事件

日程第1～日程第6（議事日程に同じ）

市議会事務局長（林 慎一君） おはようございます。

初めに議長、副議長の選出ですが、あらかじめ決定されております。ご紹介をさせていただきます。

議長は、南立石小学校6年生・佐脇 開君、副議長は、春木川小学校6年生・岡田真希穂さんをお願いいたしますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、佐脇 開君、岡田真希穂さんは正副議長席までお願いいたします。

午前 9時 3分 開 会

議長（南立石小学校・佐脇 開君） おはようございます。ただいまご紹介をいただきました議長役の南立石小学校の佐脇開と、副議長役の春木川小学校の岡田真希穂さんです。

日本一の温泉のまちづくりのために、また日本一の子ども市議会になるようにがんばっていきたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

これより、第1回べっぷ子ども市議会を開会いたします。

なお、市長さんを初め、多くの皆さんの出席をいただきました。

本日の議事は、議事日程第1号により行います。

日程第1により、議席の指定を行います。議席は議長において指定いたします。議席番号と氏名を職員の方に読み上げてもらいます。

市議会事務局次長（飯田ひとみさん） それでは、議席番号と氏名を読み上げますので、「はい」と返事をし、起立の上、一礼してください。

1番議員	野口小学校	三城準太君
2番議員	野口小学校	塩崎真琴さん
3番議員	境川小学校	新久保友美さん
4番議員	境川小学校	藤原恵理さん
5番議員	北小学校	松本裕介君
6番議員	北小学校	安部美希さん
7番議員	南小学校	秋吉諒二君

8番議員	南小学校	佐古友也君
9番議員	西小学校	板倉夕夏さん
10番議員	西小学校	秋吉拓郎君
11番議員	青山小学校	岩屋大志郎君
12番議員	青山小学校	小西珠美さん
13番議員	鶴見小学校	池尻玲君
14番議員	鶴見小学校	渡邊麗奈さん
15番議員	亀川小学校	山田悠貴君
16番議員	亀川小学校	野間口友紀子さん
17番議員	上人小学校	甲斐圭太郎君
18番議員	上人小学校	藤井礼さん
19番議員	朝日小学校	神崎祥平君
20番議員	朝日小学校	川端秀和君
21番議員	石垣小学校	大久保宙君
22番議員	石垣小学校	光吉彩花さん
23番議員	春木川小学校	岡田真希穂さん
24番議員	春木川小学校	永井利英君
25番議員	緑丘小学校	麻生晃世さん
26番議員	緑丘小学校	山崎大貴君
27番議員	大平山小学校	利光彩菜さん
28番議員	大平山小学校	吉野内裕君
29番議員	東山小学校	相原雅士君
30番議員	東山小学校	大野智央君
31番議員	南立石小学校	川野真央さん
32番議員	南立石小学校	佐脇開君

以上でございます。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） ただいま職員の方に読み上げていただいたと
おり、議席を指定いたします。

次に、日程第2により会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、

6番 安部美希さん

7番 秋吉諒二君

16番 野間口友紀子さん

以上3名の方をお願いいたします。

次に、日程第3により、会期の件を議題といたします。

子ども市議会の会期は、本日1日といたしますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

議長(南立石小学校・佐脇 開君) ご異議なしと認めます。

よって、子ども市議会の会期は、本日1日と決定いたしました。

次に、日程第4により一般質問を行います。一般質問者は16名であります。質問順位により質問をお願いいたします。

最初に1番議員、野口小学校の三城準太君の一般質問をお願いいたします。

1番(野口小学校・三城準太君) 鶴見山の噴火について質問があります。

ぼくは、この前遠足で鶴見山に登りました。ちょうどその時、鶴見山の噴火についてのニュースを見ました。そこで、クラスの人々と話し合いをして、噴火についての質問を考えました。質問を3つに分けて言います。

初めは噴火する前、次に噴火した時、最後は噴火した後というふうに分けて言います。

まず噴火する前について。1つ目は、噴火する可能性は何%あるのか。2つ目は、噴火するならいつごろなのか。3つ目は、死者や被害はどのくらいでそうなのかです。

次に、噴火した時。噴火した時に安全な避難場所は、どうなっているのか。

そして最後に、噴火した後のことについて。1つ目は自分の家がこわれた人々は、どこに住めばいいのですか。2つ目は、食べ物や衣類はだれが提供してくれるのか。これらのいくつかの質問について、わかる範囲で教えてください。

生活環境部長（高橋 徹君） お答えいたします。

まず最初の質問の噴火する可能性は何%あるかというご質問でございますが、大変むずかしい質問です。現在の科学では実際にはわからないというのが本当のところですが、鶴見岳は活火山となっていますので、必ず噴火するというものではありません。

次の噴火するならいつごろするかというご質問でございますが、これも現在の科学ではわからないのがお答えです。今の科学ではまだわかっておりません。しかし、火山の研究をしております京都大学で鶴見岳に地震計を設置しております、異常があればいち早く知る努力をしておりますし、大分県は別府土木事務所というところでいろいろな機械を使って、鶴見岳の変化を調べております。別府市も鶴見岳の噴火の危険を知るために調査をしておりますし、今年は10月に調査をいたしました。特に変わった様子はありませんでしたので、安心してください。

その次の鶴見岳が噴火した場合の被害ですが、火山灰や大小の石、水蒸気、そして非常に高温の風が高速道路を超えて、市街地周辺まで来るかもしれません。噴火の大きさによって被害の大きさは変わってきますが、大きな噴火であれば多くの建物が壊れ、火災の発生が起こり、多くの死傷者が発生する可能性はありますので、大変心配しております。

次のご質問の避難所ですが、皆さんの住んでいる地域ごとにあらかじめ学校や公民館などを避難所として指定しておりますので、確かめておいてください。皆さんの学校はすべて避難所になっております。もし噴火したときには、市から皆さんにどこどこに避難してくださいというようにお知らせすることになっておりますので、その指示に従って、その場所に避難をするように心がけてください。以上でございます。

市長（浜田 博君） 三城準太議員の質問にお答えいたします。

噴火した後のことについてでございますが、噴火により被害に遭った人たちのお世話、壊れた家に閉じ込められている人たちを助けたりする市役所とか消防、警察、皆さんが協力をして行うわけですが、被害が大きいときは自

衛隊それから近くの町の人たちが応援に来てくれます。大きな災害のためにお互いに協力しようということを約束しております。また、このような噴火が発生しても食べ物や飲み物に困らないように、新しくできた体育館、市役所のいろんな所に食べ物や毛布などを置いております。別府公園などの地下には飲み水がちゃんと用意をされておりますから、避難した人たちが生活できるようにしております。家が壊れた人には仮の家をつくって利用していただきたいと思っております。

このような災害が起きたときに困らないように、消防団や地域の皆さんが協力して毎年、消火活動や避難などの訓練を行っていると思いますし、学校でも恐らく訓練があると思います。今後、このような防災の訓練があるときには、皆さんも進んで参加をしてください。以上です。

1 番（野口小学校・三城準太君） 浜田市長さん、お答えをありがとうございました。別府市に住んでいるみんなの命を守れるようお願いいたします。これでぼくの質問は終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に 5 番議員、北小学校の松本裕介君の一般質問をお願いいたします。

5 番（北小学校・松本裕介君） 別府のバリアフリーはどれくらい進んでいるのか。

ぼくは、こども路地裏探検隊でキッズガイドをやっています。この前、そのキッズガイドをやっていると、駅前通りを車いすに乗って大変そうに坂を上がっていく人を見かけました。とてもきつそうだなあと思いました。別府の町は坂が多いので、車いすの方々にはご苦労も多いのではないかと思います。けれども、車いすの方が便利に利用できる工夫も町で見ることがあります。例えば駅前の郵便局にはスロープがついていますし、トキハの地下の自動販売機は、飲み物を選ぶボタンが下の方にもついています。しかし、まだまだバリアフリーは少ないと思います。

そこで質問ですが、今、別府はどれだけバリアフリーが進んでいますか。またこれからバリアフリーをどう進めていくか。ただ車いすの人だけでなく、障害を持っている人に対してもどのようにしようと考えているのか教えてく

ださい。

福祉保健部長（岡部光瑞君） お答えいたします。

別府市は、昭和48年に国から身体障害者福祉モデル都市の指定を受けております。歩道の段差をなくしたり、そのまま階段を昇り降りしたりできる電動式の車いすを購入したり、また身体障害者福祉センターを建設しております。そして、平成4年には別府市が住みよい福祉のまちづくりの指定を受け、音響式の信号機、交差点で歩行者の信号が青になれば音楽が出るという信号や点字ブロック、障害者用トイレなどを整備し、現在も続けて整備しております。また、亀川の太陽の家の前の歩道を広くし、車いすが離合できるようにしたり、段差をなくした道路をつくっております。車いすを使っている人も利用できる市営温泉として、平成14年には浜田温泉が、平成15年には堀田温泉がオープンしております。今年の7月にオープンしました総合体育館は、松本議員さんも知っているかもしれませんが、ここは多目的トイレや段差をなくして、障害者や高齢者の人が使いやすいようにしております。

別府市のバリアフリーの工事の進みぐあいでございますが、パーセントで調査しておりませんのでちょっとわかりませんが、別府市は他の都市と比べて進んでいるというふうに思っております。建物以外で見えますと、身体障害者福祉センターに障害者用のパソコンを購入したり、点字翻訳システムの機械を導入してパソコン教室を開催したり、バリアフリーガイドマップの作成や、手話通訳者などの養成講座を開催して、障害者の社会参加の促進をしております。以上でございます。

市長（浜田 博君） 松本裕介議員の質問にお答えいたします。

今後の対応ということですが、施設面については5年後の平成20年に全国障害者スポーツ大会が大分県で開催されることになっております。別府市にも多くの選手や役員の方々が訪れる予定でございますので、公共施設だけではなく、民間施設についても改善に向けて支援をしていきたい、このように考えております。

また、施設面だけではなく、市民一人一人の心の問題についても、たとえば道路に視覚障害者用の点字ブロックを設置しております。この上に自転車を置いたり、歩道に物を置いて幅をせまくしている、そういう部分が時々見受けられます。このようなことがなくなるように啓発、さらにはPRをしっかりとしていきたいなと思っておりますし、別府に住んでいる高齢者の皆さん、さらには障害者の皆さん、またそういう方だけではなくて、訪れる人たち、別府にたくさん観光で来る人たちがいます。そういう人たちのためにも福祉の、または観光のまち別府だということが言えるようにしっかりとがんばっていきたくてこのように考えておりますので、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

5番（北小学校・松本裕介君） ご説明ありがとうございました。市長さん、これから車いすの方や障害を持った人々が住みやすいまちになるようがんばってください。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に31番議員、南立石小学校の川野真央さんの一般質問をお願いいたします。

31番（南立石小学校・川野真央さん） 南立石公園のことについて質問します。

私たちの学校のすぐとなりには、南立石公園があります。南立石公園には、多くの木々や植物があり、公園の中を流れる小さな川には生き物もたくさんいます。春、夏、秋、冬の1年中、私たちはこの公園を使って勉強したり遊んだりしています。公園の小さな川では、ザリガニつりをしています。はしに糸をぶらさげてえさをつけます。ザリガニつりをして遊んだあとは、ゴミを出さないように気をつけて帰っています。また、広場などを使って「じんとり」や「おにごっこ」をしたりします。私たちはいつも公園を使っているので、トイレがどこにあるのかは知っています。ところが、散歩に来た人や初めて来た人にはトイレがどこにあるのかわかりにくいようです。私は何かかんたんな表示をしたものがあたらいいのかなと思ったりします。トイレや休けい所の位置がわかりやすく、みんなが使いやすい南立石公園となるようにしてほしいです。市長さん、考えを聞かせてください。

市長（浜田 博君） 川野真央議員の質問にお答えをいたします。

川野議員がよく利用している南立石公園は、自然を生かした公園で、芝生広場、小川、池がありまして、春にははしだれ梅が咲き誇ります。また公園の中には緑の相談所がありまして、木や草花などの緑についてのいろんな相談も行っておりまして、公園のすぐ隣にある南立石小学校の皆さんが、ザリガニつりをしたり木に巣箱をかけたりにして楽しく利用して、遊んだ後にはゴミを片づけてくれていると。本当に素晴らしいことだと思っております。また公園を利用して楽しかったこと、それから植物や生き物などのいろんな発見をしたことを絵や感想文にまとめて、市役所に届けてくださっております。本当にありがとうございます。

そういう中で、トイレや休けい所の位置がわかるような表示をしてほしいということでございますが、現在、園内には緑の相談所の案内の看板を設置しております。相談所で職員が公園の説明や緑の相談も行っておりまして、川野議員の意見のようにいつでもみんなが使いやすい公園になるように、トイレの位置がわかりやすいように細かなところに配慮をした看板の設置もしたいと思っておりますので、よろしく願います。ありがとうございました。

31番（南立石小学校・川野真央さん） 市長さん、南立石公園の設備がよくなるように願います。これで私の質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に10番議員、西小学校の秋吉拓郎君の一般質問をお願いいたします。

10番（西小学校・秋吉拓郎君） 福祉のことについて質問をします。

この前、私たちの小学校でバザーがありました。その時に車いすでやって来た地域の方がいました。ぼくはふっとう思いました。この学校には車いす用のトイレは2階にしかない、きっと困るだろうと。西小学校では各学年でボランティアに取り組んでいます。6年生も西別府病院の患者さんと交流をしました。1月には患者さんの早野さんを招いてお話をさせていただくことになっています。その時、トイレはどうするのだろうと、ぼくは心配になってきました。

そこで、ぼくは市内の小学校の車いす用のトイレについて調べてみました。すると、車いす用のトイレがない学校が2校あります。あっても2階にしかない学校がほとんどです。このあり様では、市内の学校に車いすに乗った人をお迎えしたり、いっしょに勉強をすることができません。別府市では、小学校の車いす用のトイレについてどう考えているのでしょうか。お答えをお願いします。

市長（浜田 博君） 秋吉拓郎君議員の質問にお答えいたします。

私は今、質問を聞きながら、秋吉君の人を思いやる気持ち、やさしい気持ちに大変心を打たれました。学校の車いす用トイレについてでございますが、以前は学校をつくる時には車いす用のトイレをつくっていませんでした。それは車いすを使用する子どもたちが学校にいなかったからなんですね。現在では、車いすを使用し通学している学校には、車いす用のトイレを準備をしていますし、これからもそのようにしていきます。場所は学校と相談をして決めています。トイレの改造にはスペース（広 さ）の問題、それから改造費用の問題などで、すべての階につくるということはちょっとむずかしいところもあるかなあと考えております。しかしこれから学校を大規模に改造したり、新しく学校をつくる時は、最初から車いすの人が利用しやすいようなトイレを必ずつくっていきたいと考えております。秋吉君が言われるように車いすを利用した一般の人も学校に見えますから、障害者の人たちが困らないように学校とも相談をして、できるだけ多くの車いす用のトイレを設置できるようにがんばっていきたいと考えております。ありがとうございました。

10番（西小学校・秋吉拓郎君） 市長さん、障害者用のトイレについて考えていてくれてありがとうございます。これからもどんどんそういうトイレについて考えてください。これでぼくの質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に3番議員、境川小学校の新久保友美さんの一般質問をお願いいたします。

3番（境川小学校・新久保友美さん） 境川の環境について質問します。

私は、5年生のとき、総合的な学習で学校の名前にもなっている境川について調べました。境川の生き物や水の汚れ、遊歩道や天満公園などの周辺的环境などを個人個人で調べてまとめました。見学に行った境川は水の汚れがひどく、あわがたくさん浮いていました。もが石にびっしりこびりつき、ゴミもたくさん捨てられていました。私は境川が生まれ変わり、子どもも大人も楽しく遊べる場所になることを願っています。今の境川では遊べないので、今、境川を守る会の方々が季節の花を植えたりして美しい河原にしてくれています。そういう活動がもっと広がり、魚が住み、花が咲き、遊具で子どもたちが遊び、ベンチで大人が語り合う境川になってほしいと思います。別府市にもそんな遊具の設置や水質の改善、その他の環境整備をしてほしいと思っています。これからの市の計画を教えてください。

建設部長（亀岡丈人君） 新久保議員さんの質問にお答えいたします。

まず、水質改善でございますが、別府市内を流れる川には朝見川、境川、春木川、新川、冷川といろいろな川があります。各河川は流域面積と言いまして、川に流れ込む幅が別府市は狭く、湧き水もないし、普段川には少量の水しか流れておりません。このため家庭や工場から汚水が流れ込んで、新久保さんが観察したとおりかなり川は汚れております。また心ない人たちがゴミなどを捨てて、それが腐って大変臭いという状況でございます。別府市ではこのような川をきれいにするために昭和35年から公共下水道事業というのをしております。この公共下水道事業というのは、各家庭から流れ込む水をきれいにするということでございます。中央浄化センターは皆さんが社会見学で行ったと思いますが、競輪場の東側に中央浄化センターがあります。そこに皆さんの汚水を流し込んで、そこからきれいな水にして流しているということでございます。市内の全部の河川をきれいにするために、今後も公共下水道を精いっぱい市役所ではがんばって行って、みなさんの遊ぶ川をきれいになりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

市長（浜田 博君） 新久保友美議員の質問にお答えいたします。

遊具で子どもたちが遊び、ベンチで大人が語り合える境川になってほしい

という新久保さんの要望だと思いますが、境川は大分県の別府土木事務所が管理をしている川なんですね。河川敷に水が流れる所と憩いができる所とを区分して整備をしております。境川を維持管理をする上で河川敷内に遊具を設置をするということは、川が増水したとき、さらには木切れや土砂が川の流れを変え、大きな災害につながるという恐れもあります。そういうところから川の機能を損なうような工作物は設置できないということになっているんですね。このため、境川の河川敷内に遊具類等の施設を設置することは現状ではむずかしいのではないかなあというふうに思われます。新久保さんの要望については、別府市から県の土木事務所に報告をいたしますので、よろしく願いをいたします。

最後になりますが、ご質問の中に境川を守る会のお話が出てきました。市としても境川の環境浄化に協力をしていただいております、非常に感謝しております。そういう気持ちも伝えておきたいと思えますし、今後も別府市として引き続き境川を守る会のみなさんと一緒に協力をしていきたいとこのように考えておりますので、よろしく願いいたします。

3番（境川小学校・新久保友美さん） 市長さん、お答えありがとうございます。私たちもこれから学校などで川をきれいにしようゴミを拾ったりしたいと思えます。境川だけでなく市内のその他の川もきれいにできるよう、これからはがんばってください。ありがとうございました。これで私の質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に22番議員、石垣小学校の光吉彩花さんの一般質問をお願いいたします。

22番（石垣小学校・光吉彩花さん） 子ども市議会で聞きたいこと。

石垣小学校は、全校生徒が600人もいて人数が多いのに、運動場が5,200平方メートルしかなくてとてもせまいので、いつも休み時間にドッジボールやサッカーボールの陣地の取り合いがあります。休み時間のチャイムが鳴るとみんなが運動場に走って行って、ドッジボールなどの陣地を取ろうとするので、とても危ないです。それに陣地が取れなかったグループの人た

ちはやりたい遊びができません。だから全校生徒のみんなが休み時間にやりたい遊びができて、楽しく遊べるように石垣小学校の運動場をもうちょっと広くしてもらえませんか。どうかよろしく願いいたします。

市長（浜田 博君） 光吉彩花議員の質問にお答えいたします。

運動場を広くしてほしいという質問ですが、みんなで楽しく遊ぶことはとても大切なことです。光吉さんの石垣小学校には現在約600人の友だちが学校で生活をしています。これからも少しずつですが、人数がふえていきそうな感じですね。今から35年前、昭和43年のことですが、今より400人も多い1,000人を超えたときがありまして、私も石垣小学校に勤めたことがありますから、講堂（現在の体育館）を4つに間仕切りをして、プレハブで授業をしたことを覚えております。それだけ大変なときも、子どもたちもきっと広い運動場があったらいいなと思っていたと思います。光吉さんも知っているとおり、学校の周りにはたくさんのお家ができていて、このままの状態でも運動場を広げるといことはとてもむずかしい状態になっています。多くの子ども達が一度に遊ぶことはできそうにないなあとそう思います。

そこで、友だちと楽しく過ごすために、限られた広さの運動場の使い方や室内での過ごし方についても、児童会などでみなさんが知恵を出し合って、ルールづくりをして工夫してみてください。そのためにお手伝いはしっかりしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

22番（石垣小学校・光吉彩花さん） 市長さん、お答えありがとうございました。

これから学校でみんなで話し合ってみたいと思います。市長さん、ぜひとも私たちの生活がよくなるようにがんばっていただきますことをお願いします。これで私の質問を終わります。ありがとうございました。

議長（南立石小学校・佐脇開君） 次に7番議員、南小学校の秋吉諒二君の一般質問をお願いいたします。

7番（南小学校・秋吉諒二君） 市民や観光客の食べ歩きやゴミのポイ捨てについて質問します。

ほかがこの質問をする訳は2つあります。

1つ目は、近くにある公園や道路に落ちているゴミなどを見たからです。ぼくの家の近くにあるももたろう公園では、楽しいけれども、みんないろんな所にゴミを捨てています。それを見て今の別府は大丈夫なのかなあと思いました。前はゴミ箱もあったのに今はありません。どうしてなくなったのかも不思議です。

2つ目は、別府市はきれいなまちだという印象を観光客の人たちに持ってほしいと思うからです。ぼくは別府が好きだから、その気持ちを観光客の人にも持ってほしいです。そのために食べ歩きやゴミをなくす方法はないでしょうか。シンガポールではつばをはいたりゴミのポイ捨てをしたらばっ金を取っているそうです。ぼくはそんなやり方はきれいなので、それ以外の方法はありませんか。またぼくたちができることはありませんか。

建設部長（亀岡丈人君） 秋吉議員さんのご質問にお答えいたします。

まず1つ目の公園に何でゴミ箱がないかということですので、建設部長からその件は答弁をいたします。

以前はゴミ箱を各公園すべてに置いておりました。そのことによってかなりきれいにはなったんですが、その後、公園のゴミ箱に家庭のゴミを持ってきて置くようになりました。そしてまた極端な公園では、紙おむつで山ほどになったこともあります。また収集日が決まっております。それで収集日でない日に山ほど家庭のゴミを出されて、それがカラスや猫、犬が食い散らして大変きたないという印象になりましたので、皆さんに捨てないというマナーアップを守っていただくために、公園の中にはゴミ箱はおかない。またゴミは皆さんで持って帰っていただくことで、今は市内の各公園にはゴミ箱は置いていないということです。たまに花見とかいろいろなことで皆さんが公園に来られた場合、ゴミを置いて帰る場合がありますが、それはすぐに片付けておりますが、まず皆さんが食べたり飲んだりしたら、公園からゴミは持って帰っていただきたいというマナーアップ運動で今は置いておりませんので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

市長（浜田 博君） 秋吉諒二議員の質問にお答えいたします。

別府の市民憲章に「美しいまちをつくりましょう」というのがありますね。ゴミに対する温かい気持ちをありがとうございます。市民や観光客のゴミのポイ捨てによって、道路や公園、公共施設などが汚れるので、皆さんがポイ捨てを辞めればきれいなまちになるわけですが、しかし今、実態は駅の周辺、それから公園、皆さんの住んでいる町内でも、ゴミやタバコの吸い殻、空き缶等が散乱しているのではないかと見かけます。別府市では、地域環境美化条例というものを決めておりまして、市民や観光客の皆さんに呼びかけているのですが、残念ながらポイ捨てがなくなっていません。今、質問の中で、ぼくたちにできることはありませんかという温かい質問がありました。皆さんがゴミをどこにでも捨てないで、ゴミはゴミ箱、そしてゴミ箱がないときは自分で出したゴミは持って帰るということをしてくれたらいいと思いますし、特にゴミを分別して燃えるゴミ、それから燃えないゴミ、缶・ビン・ペットボトルということで分けてゴミを出すようにみんなが気をつけたらいいかなあと、このように思います。また、皆さんの周りに落ちているゴミを一つでも拾っていただくということも大切なんですが、今毎年、小中学生にお願いをしております、環境のポスターや作文も書いていただいておりますね。このゴミのことや環境のことを家族で考えて、そういう作品をつくっていただくときに、家族の皆さんと話をさせていただくといいのかなと思います。クラスみんなで食べ歩き、それからゴミのポイ捨てをなくすにはどうしたらいいかなあと、このことをぜひ話し合ってください。皆さんがそういう意識を持ってくれるということが非常に大切だと思います。一度みんなでぜひ話し合ってみていただきたいと思います。ありがとうございました。

7番（南小学校・秋吉諒二君） 市長さん、ありがとうございました。これでみんなが楽しくできると思います。これでぼくの質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に14番議員、鶴見小学校の渡邊麗奈さんの一般質問をお願いいたします。

14番（鶴見小学校・渡邊麗奈さん） 市役所の仕事の内容について質問します。

以前、私の家にスズメバチの巣ができて困りました。その時、お父さんが市役所の人にとってくれるように頼もうと言っていました。私はこんな仕事も市役所の人ができるんだとびっくりしました。私にとって市役所は町のみみんなのお世話をする所、町がよくなるように中心になって動く所です。でもこのような細かいことまでお世話をしてくれるとは知りませんでした。よく考えてみると、市役所内にはいろんな課があります。その1つ1つの課にもいろいろな仕事内容があります。深く考えていくうちにだんだん興味を持ち、知りたいと思うようになりました。

そこでおたずねします。市役所内ではどんな課があって、その課の仕事の内容にはどのようなことがあるのですか、教えてください。

企画財政部長（友永哲男君） 渡邊議員にお答えいたします。

別府市には約127,000人の人が生活をいたしております。そのうち3,000人余りの人たちが外国からお見えになって、勉強やお仕事に就かれております。この別府市に住む人や働く人たちが安全で気持ちよく生活できるように、また働けるように別府市役所ではたくさんの仕事をいたしております。

たとえば、学校や公民館、道路などをつくったり、修理をしたり、病気や障害で困っている人たちの生活を応援する仕事、また赤ちゃんからお年寄りまでの健康に関する仕事、またゴミの収集や火災があったときの消防のお仕事など、皆さんの生活している周りでとてもたくさんの仕事をいたしております。このようにたくさんある仕事をきちんと行っていくために、その仕事の種類によってグループ分けを行っております。皆さんのお手元にA4の「別府市役所の機構」というものをお配りいたしておりますので、ごらんになってください。

まず、最初の大きなグループを「部」と言います。「部」は総務部、企画財政部、観光経済部、生活環境部、福祉保健部、建設部、市長公室の7つに分けられております。またこのほかにも教育委員会、消防本部、水道局などの大きなグループがあるわけがございます。その大きなグループの中に小さ

なグループが「課」ということで53ございます。以上でございます。

市長（浜田 博君） 渡邊麗奈議員の質問にお答えいたします。

お手元に置いている資料では、たくさんありますからわかりにくいと思います。簡単に書いているんですが、皆さんに関係の深い「課」をお話したいと思います。

まず、学校に行く前にゴミを出しました。このゴミの収集は「生活環境部」の「清掃課」が収集をしております。

学校に行きます。皆さんが家から学校への通学路となる道路、橋などは「建設部」の中の「土木課」の仕事となっております。

学校に着きました。学校の校舎をつくったり修理するのは「教育委員会」の「教育総務課」という課があります。また、教科書、教材、給食や修学旅行のお世話などを行っている課が「学校教育課」となっています。

学校が終わりました。家に帰って遊びに行く児童館、これは「福祉保健部」の「児童家庭課」。皆さんの近くの南立石公園にも遊びに行きますが、公園は「建設部」の「公園緑地課」でございます。

夜、お風呂に行きますね。近くにある市が管理している市営温泉は「観光経済部」の「温泉課」でございます。

今、一日の生活の中で見ても7つの「課」が出てきましたね。このほか、毎日使う水道、下水道の仕事、このほか赤ちゃんやお年寄りに役立つ仕事、皆さんの周りでまだまだたくさんの仕事を市役所はしています。これらのことをするにはお金が要りますね。そういうお世話をするということはお金が必要。そのお金は市民の皆さんから収入に応じていわゆる別府市民である「市民税」、それからお家などを持っている方から「固定資産税」、さらにはこの金額はだいたい145億円くらいになります。このお金を「税金」という言葉で使っていますね。この税金を計算するのが「課税課」、集金するのは今度は「納税課」というふうに区分をされております。

皆さんの周りにはまだまだたくさんの仕事をしていますので、これからはぜひ注意をしてみてください。また気がついたことがありましたらお知らせ

をください。くわしいことは資料の中に全部の課の仕事内容を簡単に説明をしていますから、ゆっくりまた帰って読んでいただきたいと思います。以上です。ありがとうございました。

14番（鶴見小学校・渡邊麗奈さん） 市長さん、市役所の仕事について教えてください。ありがとうございました。これからも別府のまちのためにがんばってください。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に11番議員、青山小学校の岩屋大志郎君の一般質問をお願いいたします。

11番（青山小学校・岩屋大志郎君） ベっぷアリーナについて質問します。

今年、青山小学校のそばにベっぷアリーナが建設をされました。ぼくはドッジボールクラブに所属し、アリーナを利用させてもらっていますが、その中でアリーナのよさをたくさん見つけました。

1つ目のよさは、コートだけではなく、ランニングコースやトレーニングルームがあり、バリアフリーでお年寄りの方や体の不自由な方たちにも使いやすいことです。

2つ目のよさは、暖房や冷房は天井の部分まで送らないで、半分だけ冷暖房ができるようになっていて、無駄なエネルギーを省くようにしているという人にも地球にもやさしいつくりになっています。

3つ目のよさは、雨水の利用です。まずトイレに利用し、残った水は土に返すようにしてありますが、それは別府の温泉を絶やさないことにもなるそうです。このように雨水と別府の温泉のつながりを考えているなんて、とてもすばらしいなと思いました。このすばらしい設備を日本だけでなく世界に広められたらいいなと考えます。そうすることでアリーナのよさが伝わるだけでなく、別府市の観光客が増え、スポーツを通して外国の人々との交流も増えるのではないかと思うのです。

そこでおたずねですが、アリーナを建設した目的について教えてください。また、ぼくはアリーナが大好きですが、そのアリーナのよさをどのように伝えようとしているのですか。

最後に、別府市民と世界各国の人たちが交流するスポーツの大会や、世界レベルの選手を呼び、国際試合などが見られると楽しいと思いますが、そんな夢のある計画はあるのですか。以上、質問いたします。

教育長（山田俊秀君） 岩屋大志郎議員の質問にお答えいたします。

まず初めに、べっぷアリーナを建設した目的ですが、大きく3つあります。

1つは、こどもから大人まで一生スポーツの場としての市民の皆さんの健康増進や体力の向上に役立てたいということです。

2つ目は、別府は世界に誇れる観光地です。毎年多くのお客さんが別府に見えますけれども、それ以外にスポーツの全国大会など大きな大会を開催して、より多くのお客さんに来ていただけるような施設としてつくりました。多くの人々が別府に来ていただければ、きっと今まで以上に生き生きとした別府のまちづくりができるものと思っております。

3つ目ですが、先ほどの質問にもありましたけれども、たとえば大きな災害が起こったときの避難場所になれるということです。災害はいつ起こるかわかりませんが、それに備えているわけです。

それからまた、5年後の平成20年ですけれども、大分県で国民体育祭が行われます。バレーボールと体操競技の会場として使用される予定になっております。

次に、べっぷアリーナのよさをどのように伝えようとしているかということですが、これも大きく分けて4つあります。岩屋議員さんはべっぷアリーナを使いながら、いろんな体育館のよさについて気がつかれているようですが、別府市はこのアリーナ以外にも多くのスポーツの施設を持っております。そのよいところを多くの人々に知っていただけて利用していただきたいということで、まず1つがインターネットを利用して多くの人に知ってもらうということで、今インターネットで全国に発信しております。それから2つ目は、いろんな競技のスポーツ団体を訪問して、そこでぜひ別府市でいろんなスポーツの開催をお願いしております。3つ目は、たとえば福岡県とかあるいは大阪の大学がたくさんありますが、そういう大学を訪問して、

大会とか合宿をぜひ別府市でやっていただきたいというお願いもしております。4つ目は、大分県内で行われるいろんなスポーツ大会がありますけれども、このスポーツ大会もできるだけ別府市で行っていただきたいというお願いもしております。以上でございます。

市長（浜田 博君） 岩屋大志郎議員の質問にお答えいたします。

質問の中でアリーナのお勉強をしっかりしているなという感じをしました。特に雨水を地下に浸透させるという部分、これは私は温泉、泉源を守る、または自然を大切に作る心として本当に大切なことなんですね。その点に気づいていただいたことも本当にうれしく思います。貴重なご意見を本当にありがとうございました。

多くの人の努力によりましてできましたこの体育館、アリーナです。私は、レベルの高いすばらしい競技が行われて、多くの市民の方々に楽しんでいただけるようにしていきたいとこのように考えております。アリーナでできる競技は、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、柔道、剣道、綱引きや体操競技などがあります。特にバレーボールでは、7月の開館の記念で招待試合を行いました。そのときに参加したサントリーサンバーズ、東レアローズの監督さんや選手の皆さんからもべっぴアリーナは本当にすばらしい、使いやすいということでほめていただきました。そのときの監督さんをお願いをしておりますが、国際試合ができないかなということで今お願いをしているところでございます。また他の種目についても、多くの人々にお願いをいたして大会ができるように努力をしていきたいと、このように考えております。

別府にはアリーナ以外にもスポーツ施設がたくさんありますから、それらを使った大会ができるようにこれからはがんばっていきたいとこのように考えております。そして多くの人々が別府に来て、温泉やスポーツを楽しんでいただきたいなとこう思っておりますので、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

11番（青山小学校・岩屋大志郎君） 市長さん、ぼくたちの夢が実現するよう努

力をお願いします。これでぼくの質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に17番議員、上人小学校の甲斐圭太郎君の一般質問をお願いいたします。

17番（上人小学校・甲斐圭太郎君） 別府市を全国に広めるということで質問をします。

最近、テレビではよく温泉を紹介する番組があります。ぼくは別府に住んでいるので、別府の温泉や地獄が出ないかと楽しみにして見えています。しかし、いつも湯布院は出るのに別府は出て来ないので残念に思います。4年生のころ、社会科では油屋熊八さんのことを学習しましたが、熊八さんは富士山に看板を立てたり、小説に別府のことを書いてもらったりとか、別府温泉を全国に広める努力をしていたことを知りました。

そこで質問ですが、現在の別府市では別府のことを全国に広めるためにどのような取り組みをしているのですか。また、観光客を呼ぶために何か工夫をしているのでしょうか。以上、2つのことについて答えてほしいと思います。

市長（浜田 博君） 甲斐圭太郎議員の質問にお答えいたします。

私もテレビで温泉番組が流れていますと、ついつい見入ってしまうんですが、私たちの別府は日本一の温泉地ですから、甲斐君と同じように出ないと寂しい気持ちになってしまいます。でも、皆さんが知らないうちに結構テレビに出ているんですよ。関東、関西、四国などでしか流れない分もあるわけですね。全国的なものでは、21日の日曜日に「瑠璃色の砂時計」で鉄輪温泉の放送をしていました。見た方もあるかなあ。そして、モスバーガーのコマーシャル、気がついた人がいるかな。新聞にも出ましたね。中央公民館の屋根のところで写真を撮っていました。このコマーシャルも見ました。また、驚くなかれ来年の2月には、「世界ふしぎ発見」が油屋熊八翁を取り上げてくださいます。先ほど油屋熊八さんのこともお話をいただきました。この方は別府の神様なんですね。別府観光をつくり上げた人ですから、そういう意味ではこれからしっかり大事にしていきたいなところっております。

多くの人に別府を知ってもらおうということは、市役所ではテレビやラジオを通してPRすることに力を入れています。また新聞や旅行雑誌にも別府の記事をたくさん掲載をしていただいておりますし、現地に行って街頭で宣伝活動、私もこの前韓国にも行きて、街頭でパンフレットを配りました。全国いろんな所に出かけて行って、別府の宣伝もしっかりこれから皆さんとしたいとこのように思っております。これからの取り組みはまだまだ皆さんから見れば足りないと言われるかも知れませんが、全国の人に別府を知ってもらえるように、日本一の別府温泉ですからしっかり宣伝をしていきたいと。積極的に情報発信をしていきたいと思っております。ぜひこうすればどうかという意見があれば、皆さんどんどんと観光課というのが先ほどありましたね。観光課にお寄せください。こんな宣伝の仕方がいいよと、そういう部分も皆さんのアイデアでしっかり教えていただきたいなと思うしております。ありがとうございました。

17番（上人小学校・甲斐圭太郎君） 市長さん、ぜひとも別府温泉が全国に広まるようがんばってください。これでぼくの質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に26番議員、緑丘小学校の山崎大貴君の一般質問をお願いいたします。

26番（緑丘小学校・山崎大貴君） ぼくは、ぼくたちが住んでいる別府の祭りやイベントについてお聞きしたいと思います。その中の一つのドリームバルについてお願いをします。

ドリームバルは今年で7年目になります。しかし、この前の新聞でドリームバル廃止の記事を読みました。とても残念だと思いました。ドリームバルは、アジア太平洋大学の学生さんたちも屋台を出したり、ダンスをしたりと国際交流ができるいい祭りだと思います。また会場には市内からたくさんの人が来ています。転校した友だちにもよく会います。別府の人たちがドリームバルによって心を通わせることができます。それに仮装ダンスがあつても盛り上がります。いろんなところから観光客も来ています。その観光客がまた観光客へとドリームバルのよさを伝えることで、別府はとても有名に

なると思います。こんなにいいドリームバルを廃止せずに、今後も続けてほしいと思います。

市長（浜田 博君） 山崎大貴議員の質問にお答えいたします。

質問にありますドリームバルについてでございますが、これまで7回開催をしてまいりました。ドリームバルは回を重ねるごとに市民や県民に定着をしてきたと思っております。市内をはじめ県内外の参加、そして立命館アジア太平洋大学が開学をいたしまして以降は、留学生もたくさん参加をして、別府の国際化、国際交流という面で国際色豊かなイベントに育ってまいりました。しかし、いろんな問題も抱えております。これはまず時期の問題です。ドリームバルは毎年10月に行われておりますが、この時期は市内の小中学校の運動会や地区の体育祭などの行事がいっぱいで、参加する人たちに負担がかかるという問題がありました。それから別府は観光都市であります。このイベントで観光客が呼べるんですかという問題もありました。参加する人たちに負担がかかったり、観光客が呼べなかったり、また一部の市民だけしか参加していないんじゃないかとかそういう指摘、市民総参加型といいますが、市民のみんなが喜んで参加しているお祭り、イベントになっていないのではないかと指摘もいただきました。そしてまた、補助の予算の関係でも、別府八湯の温泉祭り、そして別府夏祭、それからきのうおとといと本当にたくさんの方が来ましたね。クリスマスHANABIファンタジア、こういうものと比べてドリームバルはたくさんの補助金が出ておりましたが、それに費用対効果というむずかしい言葉ですが、お金を出している割には効果がないという費用対効果の問題、そういった問題をいろいろと検討しております。このまま継続するのがよいのか、またこのイベントの中で行われてきた非常にすばらしい部分、先ほどのダンスフェスタ、これは評判が非常にいいんですね。それから国際交流の部分とか、ほかのイベント、祭りに吸収してやれないかなあという相談も今しております。だから、今年のドリームバルで好評であった留学生や大学生を中心としたイベント、国際交流市場というのもありました。これも非常によかったもので、これは新たに立ち上げ

て実施するのがいいのかどうか、これも考えていきたいと思っています。だからドリームバルを全部やめてしまうんですよ、なくなってしまふんですよというふうには取らないでください。ドリームバルの時期の問題とか、名前がひょっとしたら変わるかもわかりませんが、中身のいい部分はちゃんとどこかのイベント・祭りと一緒にやりましょうという相談を前向きに一生懸命しておりますから、そういう意味ではよかった部分、そして市民の皆さんがたくさん参加できるように、そして来てくれるお客さんにも別府ならではのお祭り・イベントだなあと思えるようなそういうお祭り・イベントにしたいなど、そういうことで皆さんで一生懸命今相談をしていただいておりますから、そういう意味で見直しの検討委員会の答申をいただいたということです。だからドリームバルがなくなってしまう、続けてほしいというあなたの気持ちは必ずいい部分はしっかり続けていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいなと思います。よろしくお願ひいたします。

26番（緑丘小学校・山崎大貴君） 市長さん、ぜひともドリームバルがよい祭りになるようがんばっていただきますことをお願ひします。これで私の質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に19番議員、朝日小学校の神崎祥平君の一般質問をお願ひいたします。

19番（朝日小学校・神崎祥平君） ぼくは国際交流について質問します。

別府市には多くの外国人観光客が来ます。またアジア太平洋大学や別府大学にもたくさんの外国人留学生がいます。ぼくの学校はアジア太平洋大学や別府大学にも近い所にあります。5年生のとき、ぼくは外国人に話しかけられたことがありました。ある雨の日、友だちと道を歩いていたら、女の人に来て「日本の伝統文化は何ですか」と聞かれました。ぼくはびっくりし、とまどって何と言えはいいかわからなくて答えることができませんでした。6年生になって総合の時間で英語の勉強が始まりました。外国の言葉を勉強するのは楽しいです。別府市にも外国語を教えてくれる教室があると聞きましたが、よく知りません。子どもでも外国のことを勉強するところがあれば、

もっと楽しくなると思っています。別府市が開いている外国語教室について教えてください。よろしくお願いします。

市長（浜田 博君） 神崎祥平議員の質問にお答えいたします。

別府市内には69の国から約2,200人ぐらいの留学生が生活をしております。神崎君が外国語に興味を持っていること、本当にうれしく思います。現在、別府市内には小学生を対象とした外国語教室は、民間の人たちによる教室がありまして、別府市主催では語学教室はありませんが、国際交流課の事業として市内の各小学校に外国人留学生を今派遣しております。その国の歴史、音楽、生活、さらには料理や遊びなども日本と異なる文化について国際理解教室を開催しています。昨年は亀川小学校、鶴見小学校、北小学校、少年自然の家「おじか」で14回開催をしています。また北小学校の運動会や行事に大分学生交流会館の留学生も参加して、楽しい交流が実施できたというふうに聞いています。国際交流課の仕事を手伝っています外国人の留学生を先生として、夏休みに小学生を対象とした初級の中国語、韓国語講座の募集をしました。中国語の申込みはありませんでしたが、韓国語の講座を開催して、小学生の皆さんに大変喜ばれました。今後は神崎君が希望する英語に親しめる講座について実施できるように考えていきたいと思っております。

また、市内にあります留学生の宿舎の大分学生交流開館、別府市国際交流開館では、中学生以上の市民の方を対象にした英語、中国語、韓国語などの語学講座を開催しています。これからは小学生を対象とした外国語教室も開催ができるようお願いをしたいと思います。別府市としては、外国人留学生と小学生の皆さんの交流事業が活発にできるように努力をしていきたいなと思っております。

19番（朝日小学校・神崎祥平君） 市長さんを初めほかの皆さん、ぼくたちの勉強が楽しくできるようにがんばっていただきますようお願いします。これでぼくの質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に29番議員、東山小学校の相原雅士君の一般質問をお願いいたします。

29番（東山小学校・相原雅士君） ぼくは東山小学校の相原雅士といいます。自然環境を生かした観光ということで、お考えを伺いたいと思います。

ぼくたちの東山小学校の近くには、鶴見岳や志高湖、神楽女湖や由布川峡谷など自然の美しさを生かした観光地がたくさんあります。また、城島こうらくえん遊園地やゴルフ場など子どもから大人まで楽しめるレジャー施設もあります。でも、近くを通る多くの車は東山を通りすぎて湯布院の方に流れていきます。別府は温泉で有名ですが、温泉だけでなく、このような観光地をもっとPRすべきだと思います。そして観光地を生かしたイベントももっとたくさん考えてほしいです。また団体客だけでなく、家族や個人でも立ち寄りたくなるような施設をふやしてほしいです。個人客が楽しめれば何度でも訪れてくれると思います。四季を通じて楽しめるぼくたちの別府市に、全国から多くの人たちがやって来てくれるといいなと思っています。別府市としてはこのことをどのようにお考えなのかをお聞かせください。

市長（浜田 博君） 相原雅士議員の質問にお答えいたします。

本当に別府は海と山に囲まれた自然豊かな素晴らしいまちでございます。温泉や地獄めぐりだけではなく、志高湖、神楽女湖、由布川峡谷などの豊かな自然、城島こうらくえんの遊園地、ゴルフ場もあります。それから高崎山、マリンパレス、アフリカンサファリ、そういう観光施設もたくさんそろっています。観光旅行も昔のように団体客で来て、観光地を見学して宴会をして帰るという形だけではなくて、家族やお友だち同士、小グループですね、そういう旅行がたくさんふえてまいりました。相原君が言うように個人客が楽しめる観光地づくり、これにしっかり取り組んでいかなければならないと私も考えております。

まず別府の自然環境を生かすために、来年の春には湯けむり展望台ができるようになりました。これも「21世紀に残したい日本の風景」で富士山に次いで第2位に選ばれたことはご存じだと思います。あの湯けむりをしっかり見ていただく場所に展望台ができます。これもたくさんの方に見てもらふことになると思います。それから志高湖の火祭り、神楽女湖の花菖蒲の観賞

会もとても素晴らしいイベントとして今育ってきております。多くの方に知ってもらえるようにこれもしっかり宣伝をしていきたいと、このように考えております。お父さんはゴルフをして、お母さんはエステをしてきれいになって、そして子供たちは遊園地で遊べると。別府では何でもできるんだよと、そういうことをしっかり宣伝をして、別府にたくさん来ていただけるように取り組んでいきたいなとこう思っております。よろしく申し上げます。

29番（東山小学校・相原雅士君） 市長さん、質問のお答えありがとうございます。これでぼくの質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に28番議員、大平山小学校の吉野内裕君の一般質問をお願いいたします。

28番（大平山小学校・吉野内 裕君） ぼくは通学路の整備について質問します。

私たちが毎日利用している大平山校区の通学路は、くねくねと曲がっていて見通しの悪い道が多く、道路はせまくて側溝のふたの上を歩くのですが、ふたが欠けている所が多くとても歩きづらいです。足元とカーブの先の車の両方に気をつけなければなりません。雨の日はかさをさすと車とぎりぎりですれちがうのでさらに危険です。毎年、夏休み中にPTAの方々が校区内のパトロールをしてくださり、通学路の問題が上がる場所を職員室にはってある校区地図に記録しているのですが、なかなか危険な箇所が改善されません。また、このようにせまくて見通しが悪いのに、車はスピードを出して通ります。みんなが安心して歩ける道を、歩道を広げる、車に対しての注意標識を立てるなどのようにして改善できないでしょうか。考えをお願いします。

建設部長（亀岡丈人君） 吉野内裕議員さんにお答えいたします。

通学路の整備ということでございます。先日、土木課の職員が大平山小学校の方にうかがいまして、通学路の校区地図を見てまいりました。その地図は先ほど吉野内議員さんが言われましたように、PTAの方々が大平山校区内を毎年夏休みにパトロールをされ、また通学路としての問題点をいろいろと地図に落としているということでございます。PTAの皆様が子どもさんを事故から守るという強いお気持ちで行っていると聞いております。

この通学路の校区地図の中で、要望の強いものが3点ほどありました。まず先ほど吉野内議員さんが言われましたように、通学路がくねくねと曲がっていて見通しの悪い道路が多い。また道路幅がせまく側溝の上を歩くが、雨の日などはかさをさすと車との間がぎりぎりでも歩きづらい。また道路幅がせまく、歩道もせまい上に見通しが悪いのに車がスピードを出して走るので危険であるということが校区内の地図でありました。この大平山校区は、昔ながらの農業用道路や水路を利用した道路が大変多いところでございます。全般的に道路幅がせまい地域で、また近頃は住宅街になって、車も大変多いということで、歩行者の方に大変危険な思いをさせているということに對しまして、私どもも道を早くよくしなければ悪いなと思っております。吉野内議員さんがご指摘のように、抜本的に歩道を広げたり、曲がりくねった道路を見通しのよい道にすることは、この市議会の本会議場でも市議会議員さんから要望をいただいております。あの大平山校区は道路がせまい上に、私有地といいまして、個人の宅地が横にありまして、皆様のご協力をいただきながら、将来的には何とかできないかなと考えております。地元の方々とよく相談をしながら、できるところからやっていきたいと思っておりますので、協力をよろしく願いいたします。

市長（浜田 博君） 吉野内裕議員の質問にお答えいたします。

安全な通学路の問題について、よく気がついて質問をいただきましてありがとうございます。ご指摘の力所については、早速現地の調査をさせていただいて、舗装の改善、それから側溝のふたの補修、道路に注意標識の設置、すぐにできるものについては早急にこれらに対応いたします。今、部長が答弁して、PTAの皆さんからの要望、議員の要望もたくさん聞いておりますから、しっかり対応していきたいとこのように考えております。

吉野内君には、大平山地区を住みよいまちにするためにゴミ拾い等のご協力をしていただいておりますことに対してお礼を申し上げます。私どもも別府市をお年寄りや障害者の方々が、安全で安心して住めるまちにするために、今後もしっかり努力をしていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしく願

いいいたします。貴重なご意見ありがとうございました。

28番（大平山小学校・吉野内 裕君） 建設部長さん、市長さん、お答えありがとうございました。これでぼくの質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に24番議員、春木川小学校の永井利英君の一般質問をお願いいたします。

24番（春木川小学校・永井利英君） 別府市の福祉について。

今、ぼくたちの地域には、一人暮らしのお年寄りや体の不自由な人、また公園や車の中で暮らしている人が多くいると聞いています。ぼくたちのまちは、このような人たちにとって不便なことが多いようです。別府駅やまちのづくりも体の不自由な人やお年寄りにはやさしいまちとは言えないと思います。たとえば別府のまちは坂道が多い上に、起伏や段差の大きい道や歩道があったり、デパートやスーパーにも目や耳が不自由な人にとって危険な場所があったりするからです。

そこで、そのような設備を整える制度はないのか質問します。

また、ぼくたちを含めて別府の市民ならだれでも泊まったり休けいしたりできる温泉があって、そこでは車いすで入れるようなバリアフリーの施設になっていれば、みんなが仲良くなれていいと思いますが、そのような施設をつくる予算や考えはないのか質問します。

福祉保健部長（岡部光瑞君） 永井利英議員の質問にお答えいたします。

ご質問のバリアフリー施設の充実を図る制度のことですが、国が「交通バリアフリー法」という法律をつくりました。この法律によって駅やバスなどの公共の交通機関がバリアフリーに改修しようとした場合には、地方公共団体、大分県とか別府市と一体となりまして、助成する制度があります。大分県では「大分県福祉のまちづくり条例」をつくり、民間施設がバリアフリーに改修する場合には、助成したり、低利な融資をする制度があります。別府市は、これまで別府駅に車いす用のエスカレーターをつけた工事費、車いすの人が主に利用するリフトつきタクシーの購入費、車いすのまま乗れるバスの購入費などに補助金を出しております。また、中小企業の方が施設

整備をするための融資制度もつくっております。別府駅裏の青山通りや亀川の太陽の家の前の道路は、国の補助金をもらって歩道を広げたり段差をなくして、高齢者や障害者にもやさしい道路をつくっております。以上でございます。

市長（浜田 博君） 永井利英議員の質問にお答えいたします。

だれもが泊まったり入浴できる施設ということですが、宿泊施設については民間施設ですが、来年2月に高齢者や障害者とその家族向けの専用フロアをオープンするというふうに聞いております。また別府市では、市営温泉を経営しておりますが、浜田温泉、堀田温泉は車いすでお風呂に入れるというようなそういう施設になっております。宿泊施設については、行政で行うより、そのノウハウといいますか、生かせることが、また行政が行うことによって民間の経営を圧迫する、そういうことになるということで、行政でやるということは今考えておりません。また市営温泉については、今後も改築などの際には、バリアフリーの施設として整備されるように、これは必ず努力をしていきたい、こう思っておりますので、よろしく申し上げます。

24番（春木川小学校・永井利英君） ぼくたちの家族、地域の人たちのためにもよろしく申し上げます。これでぼくの質問を終わります。ありがとうございました。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 次に15番議員、亀川小学校の山田悠貴君の一般質問をお願いいたします。

15番（亀川小学校・山田悠貴君） ぼくは、温泉が好きで、家族で入りに行くこともよくあります。そんなときに思うのが、別府市の温泉の利用客数ってどのくらいなのだろうということです。テレビなどで湯布院をはじめ全国の温泉が取り上げられているのをよく見かけます。たくさんの観光客で賑わっている様子も見かけたことがあります。それに比べ、別府市の観光客数は以前よりも減ってきているということを聞きました。本当なのでしょうか。本当だとしたら、観光客をふやすために現在どのような対策を取っていますか。温泉に行ったとき、お年寄りの方が階段や湯船の段差で困っているのを見か

けたことがあります。また、新聞で入浴マナーの悪いお客が市民に多いという記事も見ました。温泉のバリアフリー化やマナーアップを呼びかけてみてはどうでしょうか。別府と言えば温泉、温泉と言えば別府というイメージを観光客の方に持ってもらえるような別府市にしてほしいです。

観光経済部長（東 昇司君） 山田議員さんの質問にお答えいたします。

別府市の温泉利用客数はどのくらいかとお尋ねでございます。

まず別府市のお湯の口数は2,845口あります。また一日の湧出量は137,000キロリットルと、口数、湯量とも日本一であります。ちなみに世界からみますとアメリカのイエローストーンが第1位で、別府市は世界の第2位であります。

そこで、別府市には市営温泉が17カ所あります。町内に市有区営、組合の温泉等が83カ所、合わせてちょうど100カ所あります。温泉課で把握しております利用者数は、市営温泉の有料の12カ所で見ますと、平成14年度で1,196,538人となっております。単純に1日で計算しますと3,278人となっております。口数からみますと別府市の大多数の市民が温泉を利用しているのではないかと考えております。

また、別府市には1年間に11,000,000人を超えるお客様が、国内、国外から見得られております。そのお客様のほとんどが温泉を利用しているのではないかと考えております。

バリアフリーについてであります。先ほど市長も述べられましたが、古い温泉につきましても、温泉を給湯する関係から階段を降りたりする浴槽が多いようでもありますので、手すりをつけたり、浴槽の中にも手すり、段差をつけて、お年寄りの方たちに利用しやすいように対策を考えております。

また、入浴マナーにつきましても、比較的若い人が体を洗わずに入浴するなど、マナーの悪い方が多いと聞いております。今後もマナー看板設置などでお知らせをしていきたいと考えております。

別府の観光になくてはならないものであります。今後、観光協会、旅館組合などと関係機関と連携しながらPRしていく必要があると考えております。

貴重なご提言ありがとうございました。以上です。

市長（浜田 博君） 山田悠貴議員の質問にお答えいたします。

別府市に来られる観光客が今減っているというお話をされましたが、ここ数年、少しふえたり減ったりして余り変わっていません。昔のかつてのにぎわいというほどはありませんけれどもね。そういう意味で、全国の温泉地を含めて非常にお客さんが減っていることはたしかですが、別府は一生懸命がんばっていると私は思っております。別府市民の皆さんの多くはホテルさらには観光施設の従業員であったり、バスやタクシーの運転手さんであったり、またはおみやげ屋さんであったりとか、何か観光にたずさわる仕事をほとんどの方がしております。そういう皆さんがおもてなしの心でがんばっておりますが、なかなか観光客がふえてこないというのが今実情なんです。

そこで、別府に足りないのは何なのか。そして別府のよいところはどこなのか、もう一度まず別府の市民が、そこに住んでいる人が再発見してみたらどうですかと。今、まち歩きツアーとか別府八湯というところでいろんな散策が行われております。私はそういうふうに別府のよいところをみんなで再発見しましょうと。そういう気持ちで今皆さんにお願いをしているわけですが、今、観光推進の戦略会議を今度立ち上げました。その中で東京の方、地元の方、そして外国の観光に詳しい方などに委員になっていただいております。将来の別府観光のあり方、こういうふうに別府は進むべきですよという提言をいただくようになっておりますから、その方向で別府が50年先、100年先にすばらしい別府観光として育っていくようにがんばっていかなくてはいけないと思っております。

日本には温泉地がたくさんありますが、その中でも別府は先ほどお話したように別府八湯としてすばらしい本物の温泉の泉質があるわけですから、この日本一の湧出量を誇る泉源、温泉、これを大切にしながら、その特徴を生かしたまちづくりをしていこうと。まずそこに住んでいる人が別府に住んでよかったと、別府が大好きだと、そういうふうに皆さんが思えるようなまちにすること、これが大切だと思います。だからそのためには、その特徴を生

かしたまちづくりをしようということで、今年またまちづくりの推進室も新設をしましたので、市民の皆さんがまずがんばっていこう、立ち上がろうという気持ちになっていただけたらと思います。

さらに別府市民の皆様とAPU、別府大学、溝部学園、そういう留学生の皆さんと協力して、外国にも、国内外にPRをして、別府観光をしっかり宣伝をしていきたいとこのように思っておりますので、またいろんなお知恵がありましたらお聞かせをいただきたいと思います。貴重なご提言ありがとうございました。

15番（亀川小学校・山田悠貴君） 市長さん、ご回答をありがとうございました。

これで私の質問を終わります。

議長（南立石小学校・佐脇 開君） 以上で一般質問を終わります。

休けいいたします。

午前10時43分 休けい

午前10時55分 再開

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 再開いたします。

日程第5により、提言の発表を行います。発表者は12名です。発言の順序により発表をお願いいたします。

最初に20番議員、朝日小学校の川端秀和君に提言の発表をお願いいたします。

20番（朝日小学校・川端秀和君） ぼくは学校のエレベーターについて提言します。

ぼくの学校には車いすの子がいます。その子は体育館に行くのも音楽室に行くのも車いすごと移動しなければなりません。ぼくが見たとき、まず一人の先生がだっこをして、その間に別の先生が車いすを運んでいました。どっちの先生も苦しそうでした。だっこされていた3年生の子もいやそうでした。学校にエレベーターがあったらいいなとその時思いました。先生もその子もあんなに苦しそうな顔をしないでいいからです。エレベーターがあったら明るい顔になると思います。それに車いすだけでなく、けがをした人や重い荷

物を運ぶときも便利です。5年生のときは、給食室と教室が遠くて、重くて熱いうどんを運ぶのは大変でした。また、1年生や2年生も大変だと思います。また参観日にもお年寄りや車いすの人などいろんな人が来てくれて、明るい学校になると思います。よろしくをお願いします。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に6番議員、北小学校の安部美希さんに提言の発表をお願いいたします。

6番（北小学校・安部美希さん） 提言すること。使われていない温泉などを足湯などに転用してはどうか。

私の学校の校区では、利用されていない温泉が何個かあります。たとえばトキ八別府店の駅前通り側のバス停の所です。ある時バスを待っていると、2年生くらいの男の子がその温泉をさわって、「きたない」と言っているのを耳にしました。私は、周りは少しきたないけれども、温泉自体はきたないのになあと少し悲しい気持ちになりました。その時から私は温泉がもったいない、何か利用できないかと考えるようになりました。そんなとき、四国の旅館で足を休める人や旅行者のために足湯をつくっていることがわかりました。私も実際につけてみました。とても気持ちがよかったです。心も体もぽかぽかしてきました。別府市民憲章にも「温泉を大切にしましょう」と書かれています。私は捨てている温泉をもっと私たち市民や観光客のために利用してはどうかと思います。これで提言を終わります。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に30番議員、東山小学校の大野智央君に提言の発表をお願いいたします。

30番（東山小学校・大野智央君） ぼくは東山小学校5年生の大野智央と言います。自然との共生都市・別府市を提言したいと思います。

別府市は、山と海に囲まれ、多くの温泉を持つ自然豊かなまちです。こんなに豊かな自然に恵まれたまちは、日本全国にもそんなにはないと思います。ぼくは、別府市に住む人々はこのことを誇りに思い、大切にしてもらいたいといつも思っています。

ぼくが住む東山は、緑が多く、自然がいっぱいです。しかし、市の中心地

はコンクリートの建物が多く、とてもさっぷうけいに感じます。ぼくが描く未来の別府市は、中心地には緑豊かな森の公園があり、多くの人や観光客も集まり、いこえるようなまちです。そして海岸にはきれいな砂浜が続き、美しい別府湾を一望しながら、散歩やサイクリング、ドライブができるまちです。これからは自然環境が大事にされると思います。別府市には多くの外国人もいます。日本だけでなく、世界中から自然と共生する観光都市・別府市として多くの人に愛されるまちになってほしいです。これでぼくの提言を終わります。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に8番議員、南小学校の佐古友也君に提言の発表をお願いいたします。

8番（南小学校・佐古友也君） 別府湾や朝見川のゴミについて提言します。

ぼくたちの学校のすぐ前には朝見川があります。鳥や魚がいっぱいいます。だけれども、ぼくは一つだけ困ることがあります。それは川にゴミがあることです。ほとんどの人が川にゴミを捨てています。あき缶やペットボトル、そのほかいっぱいゴミを捨てています。ぼくは何でこんなにゴミを捨てるんだろうと思います。ほかに道路とか公園にもゴミがあります。ぼくは川とかにゴミを捨てて気持ちがいいのかなと思います。ぼくはゴミを捨てる人を見かけたら注意したいです。南小学校の川を守るためにも川にゴミを捨てないでほしいと思います。そのためにも市報やケーブルテレビとかで市民に広く呼びかけてほしいなと思います。ぼくたちもきれいな自然を守るため努力をしていきたいと思います。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に16番議員、亀川小学校の野間口友紀子さんに提言の発表をお願いいたします。

16番（亀川小学校・野間口友紀子さん） 私の住んでいる亀川のまちについて紹介します。

亀川には、歴史ある浜田温泉や旅館、商店街、APUなどの学校、太陽の家、新しい住宅地、海水浴場、市場、亀川漁港、国立病院、関の江、スパランドなど人々の暮らしに役立っているものがたくさんあります。そういう亀

川のまちに住んでいて、私が考える理想のまちは、歴史を大切にすまち、バリアフリーのまち、安全で住みやすいまちです。

第1に、歴史を大切にすまちにあてはまることは浜田温泉です。取り壊したあとは、お金をかけてでも保存するべきだと思います。なぜなら昔からあるとてもめずらしい建造物だからです。

第2に、バリアフリーのまちは、亀川駅と学校などです。私の母は車いすに乗っているのので、駅の上りのホームに渡れないから、広島などに行くとき、亀川から別府まで行って、それから上りに乗り換えるようにしています。そして学校行事のときに、お年寄りや体の不自由な人が気軽に来られるようにエレベーターがあるとよいです。あとは古市町から関の江マルシヨクに行く途中の九州石油の右側にある溝のふたがでこぼこで、体の不自由な人が通りにくい所を改良した方がよいと考えています。

第3に、安全で住みやすいまちは、西念寺の下の溝が大雨が降るたびにあふれて、低地のため道路が水浸しになるところです。道路のでこぼこや線路などで交通量が多いため事故が起きやすいので、そこを直したらよいと思います。

最後に、私はこれからだれにでもやさしいバリアフリーの別府市になると、たくさんの観光客の方も来られると思っております。これで提言を終わります。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に9番議員、西小学校の板倉夕夏さんに提言の発表をお願いいたします。

9番（西小学校・板倉夕夏さん） 観光のことについて提言をします。

何十年も前、別府は観光客がとても多かったのに、今では少なくなって残念でたまりません。大勢のお客さんが来て喜んでもらうことは、私たちにとってもうれしいことです。全国の温泉地では足湯に人気が集まっているそうです。しかし、別府には地獄に2カ所あるだけで、無料で楽しめる足湯はありません。私は地獄の足湯に行って観光客に感想を聞いてみました。すると、足がぼかぼかして旅の疲れが取れると話してくれました。私は市が無料で楽

しめる足湯を駅や港などにつくって、喜んでもらってはどうかと考えました。

また、私たちは長崎への修学旅行で別府を走っていた路面電車が活躍しているのをみて、これを別府に復活させるとおもしろいと思いました。観光港から鉄輪まで無料の路面電車を走らせると、景色もよく観光の思い出になると思いました。どうか別府に足湯設置と路面電車の復活をお願いします。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に25番議員、緑丘小学校の麻生晃世さんに提言の発表をお願いいたします。

25番（緑丘小学校・麻生晃世さん） 私たちは緑丘小学校の校区を安全という面から、特に通学路にしぼって調べてみました。すると、次のような問題点が出てきました。

1つ目は街灯についてです。校区には変質者が出たり、昼間でも暗くて、登下校や習い事の帰り等で怖い思いをしたりすることがあります。今の時期は暗くなるのが早いため、すぐにでも街灯をつけてほしいです。また、街灯は設置していても、電球が切れかかっているものもあります。点検もお願いします。

2つ目は歩道についてです。通学路には道がせまくて、歩道がなかったり、歩道があってもせまくて通りにくい所があります。大きな車が通るととても怖いです。また、側溝のふたについている穴が大きくて足をひっかけたり、でこぼこがあって歩きにくい所もあります。安全に登下校できるようにしてください。お願いします。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に21番議員、石垣小学校の大久保宙君に提言の発表をお願いいたします。

21番（石垣小学校・大久保宙君） ぼくは校舎の施設について提言をします。

ぼくたちがいる3階にはトイレがありません。だから5、6年は1、2年が使っているトイレにいつも行っています。そして5、6年はいつもつかれて帰ってきます。だから5、6年がつかれないように3階にトイレをつけてください。

2つ目にわたりろうかの屋根を新しくしてください。学校の屋根は、ぼく

たちがボールを取りに行ったりして穴が空いたり、へこんでいたり、さびついでいたりしています。だからわたりろうかの屋根を新しくしてください。

最後に、クラスのパソコンを新しくしてください。クラスでパソコンがあるのは、6年2組と5年2組にしかありません。そしてパソコンは両方ともこわれています。だから新しいパソコンにしてください。どうかよろしくお願いします。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に2番議員、野口小学校の塩崎真琴さんに提言の発表をお願いいたします。

2番（野口小学校・塩崎真琴さん） 鶴見山の噴火について提言します。

私は鶴見山に何回か登ったことがあります。以前、鶴見山の噴火について、テレビ局で取り上げているのを見ました。過去のことを調べてみると、普賢岳の噴火のことがありました。平成2年11月7日に噴火があり、翌年の平成3年6月3日に雨が降り、このため地域の小学生が避難し、ほかの小学校に転校するという被害が出ています。また、三宅島でも噴火があり、大きな被害が出ています。これからの噴火の対策として24時間監視したり、土石流を防ぐためにダムや防災マップを作成したりしています。もし鶴見山が噴火したらどこの学校に行くのだろうか、食べ物はどうするのか、家はどこにつくるのだろうか、いろいろなことがうかび不安になります。鶴見山が噴火しても自分たちの命を守れるような対策を考えてみました。

噴火しても地下に逃げられるような施設、食料や酸素、水を用意しておき、そこで生活できるようにしておくとか、クラスがばらばらにならないようにそのときのための学校をつくっておくなど、いろいろうかびました。できるだけ早く噴火する日を測定し、それに対する対策を準備してほしいです。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に12番議員、青山小学校の小西珠美さんに提言の発表をお願いいたします。

12番（青山小学校・小西珠美さん） 別府公園について。

私は5年生の2学期に別府に転校してきました。別府は山と海に囲まれて、温泉もあり、とてもよい所だなと思いました。お父さんとお母さんは毎朝早

くから別府公園でウォーキングをしていて、私も休みの日には一緒に歩いていくことがあります。別府公園は広くて草木がたくさんあり、とても気に入っています。小さな子からお年寄りの方までたくさんの方が散歩やウォーキングにきていました。

そこで、私たちがみんなと楽しく過ごせる別府公園を、もっときれいに使いやすくするために2つ提案があります。

提案の1つ目は、ゴミ箱設置の件です。12月6日にチェッカークラブで別府公園の掃除をしました。そのときは都合で参加できなかったのですが、参加した友だちに聞くと、植え込みの中などからゴミ袋7袋分ものゴミがたくさんみつかったそうです。私も散歩に行ったときに気づいたのですが、公園にゴミ箱が見当たりません。私はゴミ箱が公園のあちこちにあれば、ポイ捨てをする人が減るのではないかと思います。ゴミ箱の色も公園にあった色で、その数も最小限にするなど検討しながら設置をしてほしいと思います。

提案2つ目は、アスレチックなどの遊具設置の件です。私は大分市の七瀬川公園に行ったことがあります。そこには木製のアスレチックや草すべり場などがあり、とても楽しく過ごせました。別府公園もアスレチックなどの遊具があると、もっと利用する人がふえると思います。きっと子どもたちは大喜びすると思います。私たちもこの自慢できる別府公園をこれからも大切に使いしていきたいと思いますので、ゴミ箱や遊具の設置をよろしく願いいたします。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に18番議員、上人小学校の藤井礼さんに提言の発表をお願いいたします。

18番議員（上人小学校・藤井礼さん） 上人ヶ浜の環境について提言します。

私たちの上人小学校では、遠足や総合学習で上人ヶ浜をよく利用します。行くたびに気になっているのがゴミの多さです。自分たちでもゴミ拾いをしていますが、次に行けばまたゴミがふえていて、どうしても減りません。そこでゴミ箱を設置してみてもどうかと思います。上人ヶ浜のゴミの多さは、ゴミ箱が少ないことからや使う人の意識に問題があるからではないかと考え

たからです。でも、普通のゴミ箱では、せっかくの公園のふんい気がだいなしです。そこで、たとえば花や鳥の形をしたゴミ箱のように上人ヶ浜のふんい気をこわさないようなデザインを別府市民に募集するのもよいと思います。そうすればみんなの意識を高めることができますと思いますし、公園を利用する人も楽しめるのではないかと思います。ぜひ考えてみてほしいと思います。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 次に27番議員、大平山小学校の利光彩菜さんに提言の発表をお願いいたします。

27番（大平山小学校・利光彩菜さん） 観光客が別府にたくさん来たくくなるようなまちづくりについて提言します。

別府は何といっても温泉が有名なので、温泉に入浴しやすいふんい気や料金、清潔さなどです。私は湯布院で足湯に入りました。そこはいろいろな湯布院のおみやげ屋さんや食事処、きれいな布物やガラス工芸などのお店が集まった一角にあり、タオルをこれらのお店で買い、それが入浴代でした。とてもリラックスできて、歩きつかれた足が元気になりました。別府にはホテルの中や血の池地獄などだけにしか足湯がないので、地獄やホテルの利用者などしか利用できないので、別府公園や街かど、商店街などに観光客がほっと一息つけるような場所があったらいいなと思います。また、観光客が利用しやすいように一定料金で走る路線バスがあればいいなと思います。観光都市・別府が以前のように観光客でにぎわうまちになってほしいと思います。これで私の提言を終わります。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 以上で提言の発表を終わります。

次に日程第6、議員提出議案第1号「子ども宣言について」を議題といたします。提出者の13番議員・池尻玲君から提案理由の説明をお願いいたします。

13番（鶴見小学校・池尻 玲君） 議員提出議案第1号は、お手元に配付してあります宣言書を読み上げて提案理由の説明にかえさせていただきます。

「未来に輝くべっぷっ子」

子 ども 宣 言

別府に住む私たちは、第1回べっぷ子ども市議会を機会に、別府について考えました。夢と希望に満ちた未来を願い、みんなのやさしい心を一つにして、豊かな自然と湯けむりを誇りとし、思いやりに満ちあふれたまちづくりのために、ここに次のことを約束し、実行していくことを誓います。

1. あいさつのできる明るい子どもになります。
2. みんなから愛される美しいまち・別府になるように自分たちでできることから始めます。
3. みんなで力を合わせて世界一の温泉を大切に守っていきます。

以上、宣言いたします。

平成15年12月25日

べっぷ子ども市議会

議員の皆さんのご賛同をよろしく申し上げます。

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） ただいま提案されました議員提出議案第1号「子ども宣言について」、賛成の皆さんの起立をお願いいたします。

[賛成者起立]

議長（春木川小学校・岡田真希穂さん） 起立全員であります。

よって、議員提出議案第1号「子ども宣言について」は、全会一致をもって可決されました。

以上で議事のすべてを終了いたしました。

これをもって第1回べっぷ子ども市議会を閉会いたします。

午前11時22分 閉会

閉 会 式

- | | |
|--------------|---------------|
| 1.市議会議長あいさつ | 清 成 宣 明 市議会議長 |
| 2.市長あいさつ | 浜 田 博 別府市長 |
| 3.記念品贈呈 | 山 田 俊 秀 教育長 |
| 4.子ども議員代表者謝辞 | 藤 原 恵 里 子ども議員 |

[閉 会 式]

○市議会事務局主事（遠藤 緑さん） それでは、閉会式を行います。

まず最初に、清成宣明市議会議長よりごあいさつを申し上げます。

○市議会議長（清成宣明君） みなさん大変お疲れさまでした。今朝の集合から約3時間、皆さん方にとっては日ごろの学校からするとずいぶん長い時間、緊張しっぱなしであったろうと思います。少しくたびれが出たかなと思うころに休憩を10分入れました。おかげで無事に終わりました。

自然、環境、福祉、観光、国際交流まで、本当にいろんなことをしっかり勉強していただいて質問をしていただき、また提言をいただきました。市長さんをはじめ執行部の皆さん、そして私たちもできることから皆さんの意見を取り入れていきたいなというふうに今思っております。

私たち大人の議会は、この10倍ぐらい、3日間かけて夜までずっと一般質問を続けますけれども、その時は市長さんが答えるのは、本当は今皆さんにお答えした3分の1か4分の1しか答えません。しかし、きょうは皆さん方のために特別に市長さんにたくさん答えていただいて、本当にありがとうございました。

それから、後ろに並んでいる執行部の皆さんは、実は皆さん方の質問に対して答弁を3回か4回実は書き直しております。小学校6年生、5年生の皆さん方にわかる言葉で説明をすること、この答弁をすることがいかにむずかしいかということ、きょう後ろに並んでいる執行部の皆さんは感じておると思います。大人同士の話であればいろんな言葉がぼんぼん飛び交っていいわけですがけれども、皆さん方に理解をしてもらうための苦労が今回の執行部の一番の苦労でありました。12月18日に私たちの議会が終わりまして、19日に皆さんのリハーサルがありました。それから時間をかけて、大人から子供さんの方に頭を切り換えるのが私たちの一番の苦労でありました。議会事務局の職員も一生懸命がんばってくれましたし、子ども会のみなさん、それからPTA、市子連の皆さんが一生懸命やってきょうこういうことになりました。感想をあとでまたお聞かせをいただきたいと思っておりますけれども、

本当にがんばっていただいたことに心から感謝をいたします。

21世紀はもう皆さんの時代です。ここにいる、前に並んでいる人で、選挙で選ばれる人以外は、10年先はだれもここにおりません。たぶんおりません。そうすると皆さんが22、3歳、もしくは24、5歳。25歳から被選挙権、議員になる資格があります。10年たったときにきょうの経験を生かして、よし、私も議員になるぞ、別府市のためにやるぞと、きょうの気持ちをぜひ忘れずにがんばっていただきたいと思います。

ここに並んでいる私を含めて、議員さんを含めて、皆さん方にいい別府を残すように、きょうの皆さん方の本当に純粋な気持ちを忘れずに今後ともがんばっていきますから、皆さんもそれぞれの地域でがんばってください。

それから、一つこれはお断りといいますか、皆さん方への答弁の中で、こうしてください、ああした方がいいですよということを、市長さんは「断腸の思い」という言葉がわかるかどうかわかりませんが、それはできないんですよと、あるいはごめんなさいねというお断りも幾つかありました。しかし、これがある意味では皆さんが今勉強している民主主義ということですよ。民主主義には時間もかかります。それから皆さんの意見をたくさん聞きます。お金も要ります。だから簡単にすぐできないことがたくさんあるということもまたきょうひとつ勉強していただけたらありがたいなど。本当は市長さんも教育長さんも、皆さんの意見に対して、明日でもしてあげたいという気持ちはたくさんあるんです。でも、できないこともたくさんある。だからそういうことも含めてきょう勉強していただけたらいいなと思っております。だけれども、皆さんの時代に必ずできるように私たちの方で一生懸命その基礎づくりをしたいと思いますから、皆さんの時代に合わせてまた皆さん方ががんばっていただけるようお願いをいたします。

それから、傍聴席にお座りの皆さん、きょうは本当にありがとうございました。引率の先生方、心より感謝を申し上げます。第1回の子ども市議会がこういう形で何とか無事に終了できましたことを心から感謝を申し上げたいと思います。私たちの未来とともに、子どもの未来があるわけでありまして、

今後とも議会に対しまして、また別府市に対しましてご支援をいただきますように心からお願いを申し上げまして、ごあいさつといたします。本当にきょうはありがとうございました。感謝申し上げます。

(拍手)

○市議会事務局主事（遠藤 緑さん） 続きます、浜田博市長よりごあいさつを申し上げます。

○市長（浜田 博君） みなさん、きょうは本当にありがとうございました。もう今、議長から本当にすばらしい総括、お礼も含めてお話をいただきましたので、私からは多くは申しませんが、とにかくきょうは私自身が本当に勉強させていただきました。いろいろな部門に向かってしっかり皆さんが勉強をして、そして提言をいただいて、私の答えも皆さんにとって十分ではなかったと思います。なかなかわかりやすい言葉で皆さんに理解してもらおうということは、本当に大変でございました。執行部の皆さんも一生懸命勉強して、どう答えたら皆さんにわかってもらえるか、本当に毎日毎日勉強したようでございますし、その気持ちだけでも皆さんにお伝えできればなと思いますし、ぜひこれから21世紀を背負う皆さんでございます。別府を大好きになっていただいて、別府のために自分はがんばっていこうと。

今、議長からお話がありましたように13年後ですか、被選挙権もありますから、よし、俺は議員になるぞと、別府のためにがんばって政治家になってやろうという人がこの中から出るかなというふうにも思っております。とりわけその時には、私などはおりませんが、あの浜田市長の時に、私は子ども議員になってこんな質問をしたんだと、まだ13年たってできていないじゃないかと、このことを言えるのは皆さんです。そのことをしっかり13年後にその時の市長にしっかり文句を言ってください。

そのためにできるように私たちは一生懸命がんばっていきたいと思います。そして教育の問題、皆さんが本当に身近に感じている、学校内で本当に楽しい勉強ができるように、そういう環境づくりにもしっかりとがんばっていきたいとこのように思っております。

本当にきょうは皆さんから温かいお言葉、提言をいただいたことを心からお礼を申し上げます。

また、きょう傍聴をいただきました先生方、そして保護者の皆さん、本当にありがとうございました。どうぞこの子どもの思いをしっかりと見守っていただきまして、皆さんも今、大人の立場で私たちと同じ気持ちになって、ひとつ別府を発展させるように温かいご支援とご指導、ご協力をお願いを申し上げて、お礼のごあいさつにいたします。本当に皆さん、ありがとうございました。（拍手）

○市議会事務局主事（遠藤 緑さん） 続きまして、山田俊秀教育長より、本日ががんばっていただきました子ども議員の皆さん方に記念品を贈呈いたします。

代表、境川小学校6年・藤原恵里さん

[教育長より記念品贈呈]（拍手）

○市議会事務局主事（遠藤 緑さん） ここで子ども議員を代表して藤原恵里さんよりお礼の言葉があります。子ども議員並びに執行部の皆さんは、全員ご起立願います。

[全員起立]

○子ども議員代表（境川小学校・藤原恵里さん） 謝辞。

きょうは、私たちのために子ども市議会を開いてくださり、ありがとうございました。きょう、私はお友だちの意見を聞くことができました。私の校区にある境川のことや別府市の環境問題についてのこと、また住んでいる人のためのまちづくりなどが意見としてありました。そのような多くの質問に答えていただき、それを聞くことでこれからの別府市のことを知ることができました。

この議会に参加できたことはとてもよい経験となり、これからの別府市を私たちの力で守っていこうという気持ちにつながっていくと思います。本当にありがとうございました。

境川小学校・藤原恵里

（拍手）

○市議会事務局主事（遠藤 緑さん） 御着席ください。

[全員着席]

○市議会事務局主事（遠藤 緑さん） 以上をもちまして閉会式を終了いたします。



別府市議会子ども会を
支える議員連盟 会長

首藤 正

この度、市当局をはじめ、多くの関係者のご尽力により「子ども市議会」を開催することが出来ましたことを厚くお礼申し上げます。

このことは、子ども会活動に携わりながら社会力のある子ども達の育成のために、何か議員としての私たちに出来ることはないかと、長い間心の中に温めてきたことの実現でした。

私どもは、今後とも、大切な明日への希望である子ども達を温かい眼差しで見守りながら地域の子ども会を支え、ライフワークとしての「地域子育て」を実現するため、子ども会活動に携わってまいりたいと存じます。

この「べっぷ子ども市議会」を通して、その大きな一歩を踏み出すことが出来ましたことを深く感謝いたします。



別府市教育長

山田俊秀

子ども議会は、子どもたちが日頃から考えている意見等を発表できる機会を与えていただきました。

各小学校から代表である32名の子ども議員の質問や提言内容は、別府市民が安心して暮らせる福祉や環境づくり、観光やスポーツの活性化、温泉活用及び外国の方との交流等、多岐にわたり、限られた時間内で発言する一人ひとりの姿は、私に熱い鼓動を感じさせ、自分たちの別府に思いを寄せることの大切さを身をもって感じさせてくれた一日でありました。

議場におけるこの体験は、子ども議員にとりまして、貴重な思い出として胸に刻まれたことと思いますし、今後は、別府市政に関心を持ち、別府を支える人に成長されることを期待しています。



別府市子ども会
育成会連合会 会長

平松徹夫

この度、初めての「べっぷ子ども市議会」を開催いたしましたところ、関係者各位のご尽力により大きな成果をあげ無事終了することが出来ました。

本事業を行うにあたっては浜田博別府市長様をはじめ、「子ども会を支える議員連盟」の方々の熱意と努力並びに実行力の賜であると、子ども議員共々心から感謝申し上げます。子ども議員としてのこの度の体験は生涯に残る素晴らしいものであり、大きな自信と支えになるものだと確信しています。

また、当日子ども議員から出された純粋なアイデアや要望は、今後の別府市のまちづくりに生かされることと思います。

終わりになりましたが、子どもたちのために貴重な時間と体験の場をご提供下さいました関係者各位に厚くお礼申し上げます。



別府市P T A連合会
会長

小川博副

この度、初の「べっぷ子ども市議会」開催に際し、ご尽力をいただきました関係者の皆様方に心よりお礼を申し上げます。おかげをもちまして予想以上の成果を挙げ無事終了することが出来ました。

特に、子ども議員の皆さんが質問された内容や提言は、大人顔負けするほどの内容であり、別府市の将来を真剣に考えている熱意を感じることができ、傍聴している多くの人たちへ深い感激を与えるものでありました。

また、誠心誠意答弁してくれました浜田市長様方にはより一層の励みにもなったものご推察申し上げますとともに、この子ども議会が別府市の発展に寄与するものとなりますよう心より願っております。ありがとうございました。